

県内小中高、過去最多を更新

文部科学省が27日発表した2023年度学校保健統計調査によると、裸眼視力が1.0未満の県内の子どもは19年度以降、小中学校、高校とも最多を更新した。全国平均と比べて、幼稚園から高校までの全てで全国平均を上回っている。

裸眼視力が1.0未満の本県の児童生徒の推移は【表】の通り。23年度は幼稚園30.6%（全国比7.7%超）、小学校43.0%（同5.2%超）、中学校67.3%（同6.4%超）、高校81.0%（同13.2%超）だった。

県教委は、視力低下の要因の一つに「スマートフォンやタブレット端末を使用していることが影響しているのではないかと分析。積極的に屋外で過ごし、本やタブレット端末を利用するときは目から30センチ以上離したりするなど、文科省が示す予防対策の周知徹底に取り組む。

